

「伊達高校における読書活動推進へ向けた取組」

1 学校の概要

本校舎

- ① 所在地 福島県伊達市保原町字元木23
- ② 学級数・生徒数（令和6年5月1日現在） 全日 15学級 334名
- ③ 学校図書館の蔵書数（令和6年5月1日現在） 33,067冊

梁川校舎

- ① 所在地 福島県伊達市梁川町鶴ヶ丘33
- ② 学級数・生徒数（令和6年5月1日現在） 全日 2学級 12名
- ③ 学校図書館の蔵書数（令和6年5月1日現在） 16,692冊

※梁川校舎は令和7年3月末で閉校します

2 読書活動推進へ向けた取組

- ① 生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実へ向けた取組

本校舎

- ・公開文化祭における図書委員会の展示

「図書委員おすすめ本」のPOPと本を展示。本校は令和5年4月に梁川高校と保原高校が統合し伊達高校となった。そこで、周年記念誌や自校出版物など、両校所蔵貴重資料を展示した。ほか、来場者に向けてしおりづくりのワークショップも開催した。周年記念誌や両校出版物に熱心に見入る来場者が多くみられた。



写真 <公開文化祭展示の様子>



<両校舎所蔵 自校出版物展示>

・ライブラリーカフェの開催（図書委員会主催 平日放課後）

普段図書館に来ない生徒の来館を促すため、年2回開催。図書館内にBGMを流し、飲み物を提供。くつろいだ雰囲気でも本や雑誌を読めるよう図書委員会で準備・実施した。この行事は令和2年度より継続的に開催しているため、毎回多くの生徒が訪れ、読書の時間を楽しんでいる。



写真 <ライブラリーカフェ>

・図書委員会夏季研修の実施

夏季休業中に図書委員希望者を対象とし、先進的な取り組みを続け、市民の利用が多い多賀城市立図書館見学と、仙台市駅前の大型書店で選書実習（生徒が図書館に入れるための本を予算内で選定する）を実施。参加した生徒は、一般利用者が入れないバックヤードの見学等をとおり、図書館の意義や活動について理解を深め、蔵書の選定を自ら行うことで図書委員としての自覚や、資質の向上をはかることができた。



<図書委員選定図書>

写真 <多賀城市立図書館見学>

<選書実習の様子>

② 学校における読書を通じた読書習慣の定着を図る取組

本校舎

- ・朝の読書（1・2・3学年 朝自習の時間）

*図書館より各クラスへ約20冊ずつ本を貸出。前期と後期で内容を入替。

③ 読書活動の質の向上へ向けた取組

本校舎

- ・「読みきかせ&朗読会」(1学年対象)と「読みきかせワークショップ」の開催

1学年を対象とし、LHRの時間に外部講師(NPO法人夢ネットワークスタッフ 伊達市保原町)を招き、生演奏を交えた読みきかせ&朗読会を実施した。

また、放課後には保育士や図書館司書を志望する生徒、読みきかせに興味のある生徒(希望者)を対象とし、絵本の「読みきかせワークショップ」を開催。同じくNPO法人夢ネットワークスタッフ様に読み聞かせの意義について講義いただくとともに、読み聞かせの実践も行った。

「読みきかせ&朗読会」では、読み聞かせ体験が幼少期以来という生徒が多く、高校生になって改めて聞くことで、懐かしさとともに新しい発見があり、読書欲が喚起されたという感想が多くあった。

ワークショップでは、読みきかせを行う際の注意点やその意義について、分かりやすく説明いただき、保育や絵本に興味を持つ生徒達にとって有意義な時間だった。



写真 <読みきかせ&朗読会>



<読みきかせワークショップ>

④ その他、読書活動推進へ向けた取組

本校舎

- ・小論文用推薦図書リストの作成

本校所蔵の小論文対策となる書籍をテーマごとにリスト化、冊子体にまとめ3学年各クラスと進路指導部に配付。また、小論文を書くための生徒用プリントも作成し小論文対策用図書選定の参考資料とした。

梁川校舎

- ・ホームカミングデーでの除籍図書配付

11月2日(土)地域の方や卒業生の方に校舎を懐かしんでいただけるよう、

ホームカミングデーを開催。図書館では統合に際し、本校舎へ移管せず、除籍処理した図書（廃棄予定図書）の再利用として希望者に配付。ホームカミングデーの来場者は約280名。悪天候にもかかわらず、図書館にもたくさんの方々に来校いただき、図書をたくさんお持ち帰りいただいた。

また、図書委員の生徒たちが「図書委員会オリジナルしおり」を作成し、生徒・教職員のほか、来場者に記念として進呈した。



写真 <ホームカミングデー除籍図書配付>